

プログラム

令和 8 年 8 月 29 日 (土)

9:30～ 受付開始

10:00～ 開会挨拶

10:05～10:30 会長講演 座長：脇坂 浩（浜松医科大学）
『感染看護の推進力～求められる看護力～』
演者：武井 泰（山梨県立大学）

10:30～10:40 休憩

10:40～12:00 教育講演Ⅰ 座長：岡田 忍（川崎市立看護大学）
『感染管理の経済評価－医療の質とコストの両立の実現－』
演者：小林 美亜（山梨大学医学部附属病院）

12:00～12:10 休憩

12:10～13:00 ランチョンセミナーⅠ 共催：杏林製薬株式会社
座長：三河 貴裕（山梨県立中央病院）
『講演 1：環境整備に用いられる各種製品の特性と適切な使い分け』
演者：入倉 悠（山梨大学医学部附属病院）
『講演 2：感染対策をもっと早く、もっと確実に
－現場で活かす迅速核酸増幅検査の力－』
演者：浅井 さとみ（東海大学）

13:00～13:20 休憩

13:20～15:00 シンポジウムⅠ 『感染看護実践の最前線』

座長：窪川 佳世

(山梨県立大学認定看護師教育課程)

内藤 由美 (どちペインクリニック)

1. 感染管理は基本の徹底と仲間作り

演者：晦日 浩二 (甲州リハビリテーション病院)

2. つながる、支える、感染管理 ～地域を支える感染管理者の実践と連携～

演者：堀内 愛 (富士吉田市立病院)

3. 地域支援活動から見てきた在宅・介護領域の

感染対策実践力向上の課題～感染対策実践者育成事業の企画～

演者：小林 智子 (石和共立病院)

4. U=U時代のHIV看護 ～選択と生活を支える看護実践～

演者：高取 美香 (山梨県立中央病院)

5. 激変する医療環境における感染管理認定看護師の役割

～精神科の実践と県内感染対策ネットワークの展開～

演者：廣瀬 紀子 (山梨県立北病院)

15:00～15:10 休憩

15:10～16:20 ポスターセッションⅠ

一般演題【コアタイム：15:10～15:40】

実践活動報告【コアタイム：15:50～16:20】

16:30 閉会

令和 8 年 8 月 30 日 (日)

9:30～ 受付開始

10:00～11:20 教育講演Ⅱ 座長：武井 泰（山梨県立大学）
『感染予防行動を「続けてもらう」ための行動科学
ーナッジと認知バイアスを活かした現場介入の理論と実践ー』
演者：平井 啓（大阪大学大学院）

11:20～11:30 休憩

11:30～12:10 特別講演 共催：株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
山梨県立大学
『ステロイド治療とトップアスリートの狭間で
ーVogt-小柳-原田病を経験したＪリーガーの葛藤と希望ー』
演者：柏 好文（ヴァンフォーレ甲府）

12:10～12:20 休憩

12:20～13:00 ランチョンセミナーⅡ 共催：スマート・アナリティクス株式会社
『怖くない！量的研究の始め方』
演者：畠 慎一郎
（スマート・アナリティクス株式会社）

13:00～13:10 休憩

13:10～14:30 シンポジウムⅡ 『災害現場における感染看護実践』
座長：城戸口親史（富山県立大学）
高取 充祥（山梨県立大学）
1. 災害発生時における感染看護の展開
演者：渡邊 和信（順天堂大学医学部附属静岡病院）
2. 災害現場における感染看護実践ー地域特性・圧挫症候群
（クラッシュ症候群）対応・TKB48 を統合した視点からー
演者：矢田 哲康（東京都町田市民病院）
3. 被災地における避難所等での感染症発生の現状と
感染対策への取り組みの実際
演者：黒田 梨絵（ぐんま未来大学）
4. 発災後の時間とともに変化する被災地の環境
演者：三橋 睦子（国際医療福祉大学）

14:30～14:40 休憩

14:40～15:50 ポスターセッションⅡ
一般演題【コアタイム：14:40～15:10】
実践活動報告【コアタイム：15:20～15:50】

16:00 閉会、次年度大会長挨拶